

Community

02

日本の技術とノウハウを広げる

高速道路技術による国際連携の取組み

国際社会への貢献と挑戦

世界各国の技術者との交流で高速道路の質を高める

国際社会への貢献と挑戦

NEXCO東日本グループでは、長年培ってきた高速道路の技術やノウハウを活用し、諸外国の発展に貢献しています。経済成長著しいインドにおいては、2019年11月に現地法人E-NEXCO INDIA PRIVATE LIMITED(ENI)を設立して、同国の路面状況の調査などを行い、最適な補修計画の支援などを手がけています。

インドへの技術展開

当社は、インド最大の有料道路運営会社であるCube Highways (Cube社)と休憩施設を含めた道路維持管理全般に関する技術アドバイザリー契約を締結し、インドへの技術展開を行っています。

路面性状測定車両「E-NEXCO Eye」の展開

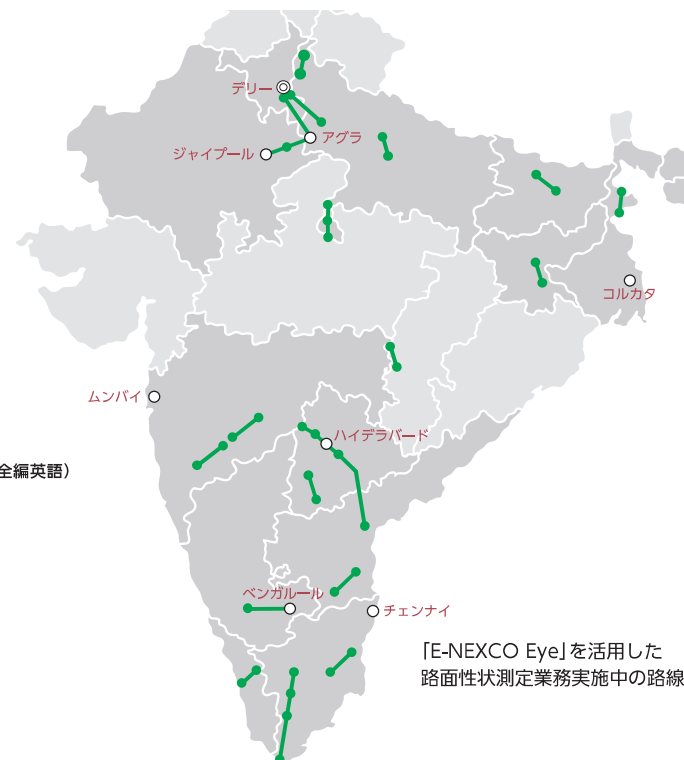
「E-NEXCO Eye」は、レーザーやカメラを用いて路面のひび割れやわだち掘れ、IRI(乗り心地の指標)を測定する車両で、夜間には最高時速100kmで走行しながらデータを取得することが可能です。「E-NEXCO Eye」は下の地図に示された25路線の道路で測定を行っており、ENIがこの車両を活用して得たデータは、効率的な道路の補修計画に役立てられています。

高度な道路管理と運営のニーズが高まっているインドにおいて、「E-NEXCO Eye」は安全な道路空間の実現に貢献しています。



路面性状測定車両「E-NEXCO Eye」

「E-NEXCO Eye」のプロモーションビデオ(YouTube)はこちら (全編英語)
<https://www.youtube.com/watch?v=lePhmG0xJnk&t=9s>

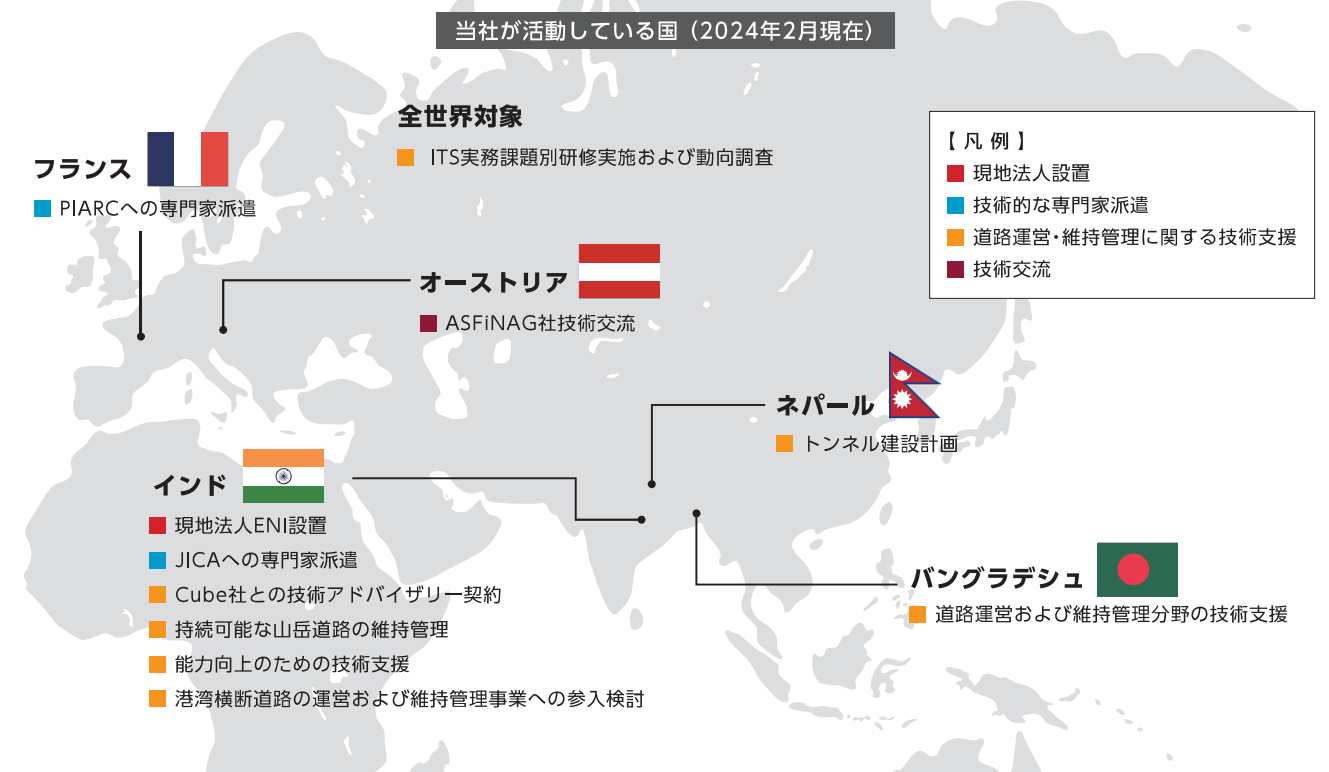


「E-NEXCO Eye」を活用した路面性状測定業務実施中の路線

社会の発展へともに歩む ～国際協力による技術貢献～

当社が長年培ってきた技術やノウハウは、諸外国へのコンサルティング業務にも活かされています。

当社は、現地省庁の技術協力を目的として、各国で道路運営・維持管理に関する技術支援を行っています。また、JICA(独立行政法人国際協力機構)やPIARC(世界道路協会)に対して、高速道路の建設・維持管理に関する技術的な専門家を派遣し、派遣先の諸課題解決に貢献しているほか、海外の技術研修生の受け入れも行っています。



〔バングラデシュにおける道路運営および維持管理分野の技術支援〕

当社は、バングラデシュ道路局が管理する全国の国道などを対象として、国道が抱える課題分析や維持管理計画の改善提案などの技術支援を実施しています。

〔インドにおける港湾横断道路の運営および維持管理事業への参入検討〕

当社は、日系企業が建設に関与したムンバイ湾横断道路において、日本の道路運営・維持管理のノウハウを活用した技術支援事業への参入を検討しています。



バングラデシュ道路局職員による当社技術センター視察



ムンバイ湾横断道路



世界各國の技術者との交流で高速道路の質を高める

NEXCO東日本グループは、山岳部や気象状況が厳しい地域などにおいても円滑な交通を確保するため、さまざまな課題に取り組んでいます。抱える課題を解決するうえで、世界各国の技術者との情報交換や類似した課題を抱える国の高速道路会社との技術交流を積極的に行い、安全・安心・快適・便利な高速道路を未来へつなげていきます。

世界各国の国際会議への参加

当社は、世界各国で開催される各種国際会議・国際セミナーなどに参加し、高速道路事業に関する国際的な動向の把握をするとともに、当社の技術とノウハウを世界に広く紹介しています。

2023年度 主な参加会議

* PIARC (世界道路協会) 世界道路会議

* ITS世界会議

* REAAA (アジア・オーストラレーシア道路技術協会) 主催会議

* IBTTA (国際有料道路協会) 年次総会

オーストリアの高速道路会社との技術交流

当社は、高速道路の建設や管理運営などの情報・技術交換を目的に、オーストリア唯一の高速道路会社 ASFİNAG社と技術交流協定を2008年に締結しています。

同社の高速道路は、都市圏とアルプスを中心とする山々を貫き、トンネルや橋りょうなどの構造物が多いことや、降雪地域も通過するなど、当社の管理する高速道路と地理的特性が類似しており、抱える課題や取組内容がNEXCO東日本グループと類似しているため、同社との連携は、高速道路の発展に大きく寄与するものと考えています。



当事業に関する講演 (PIARC)



ASFİNAG社との意見交換